



尼崎市のキャラクター「あまっこ」

めざせ！観光都市尼崎 PART III (尼崎城バージョン)

尼崎市立尼崎双星高等学校

生徒氏名：久下 裕靖 黒瀬 心 田尻 玲奈 春名 梨沙
福西 永愛

指導教諭：三木康豪

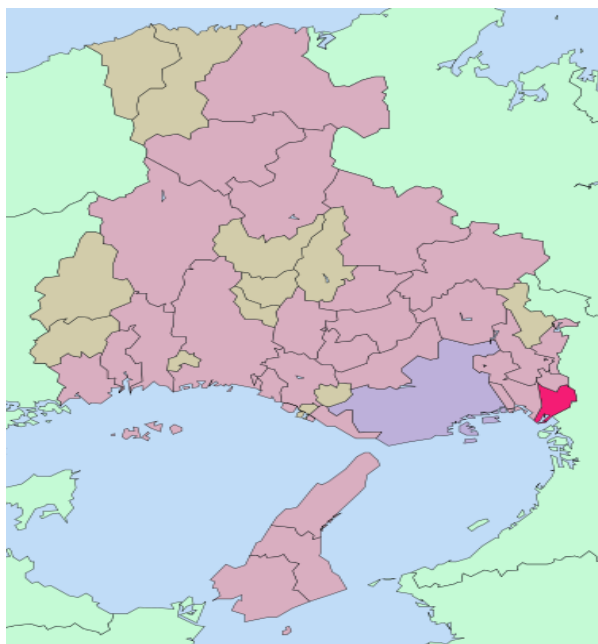


尼崎市について

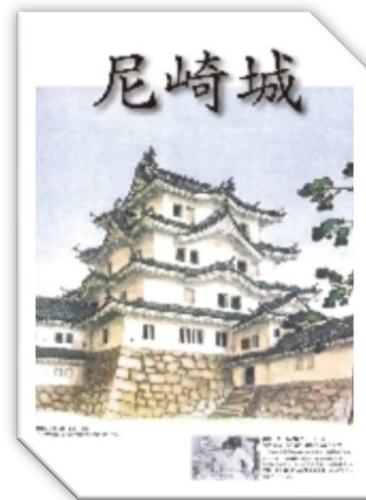
【歴史】

尼崎という地名が歴史上初めて登場するのは、平安時代の末から鎌倉時代の初めのころです。尼崎は、鎌倉・室町期の記録には「海土埼」「海人埼」「海埼」とも書かれており、いずれも読みは「あまがさき」と考えられる。

つまり、漁民・海民が住む海に突き出た土地というのが、地名の由来と考えられる。この港町尼崎が、近世には尼崎城の城下町となる。近代に入ると、旧城下町を中心とした行政区域としての尼崎町が成立し、何度か周囲の村を合併して、現在の尼崎市となっていた。



50km



【尼崎城について】

尼崎城(あまがさきじょう)は、兵庫県尼崎市にあった日本の城である。江戸時代初期に築城された平城。

安土桃山時代の天正6年(1578年)に荒木村重が織田信長に反旗を翻した際、有岡城から逃げ込んだ先である大物城は尼崎城(尼崎古城)とも呼ばれるが、現在の尼崎城趾とは位置が異なる。

元和3年(1617年)、戸田氏鉄(うじかね)が5万石で入封し築いた。3重の堀をもち、本丸には2重の付櫓を2棟付属させた複合式の四重天守と3棟の三重櫓が上げられた。

城主は、築城から廃城まで3氏12代が入替わった。戸田氏の後は、青山氏4代、そして正徳元年(1711年)桜井松平家の松平忠喬(ただたか)が4万6千石で入り、以後桜井松平家の支配が7代と続き幕末を迎えた。最後の藩主は松平忠興である。歴代城主については尼崎藩の歴代藩主の一覧に記載がある。

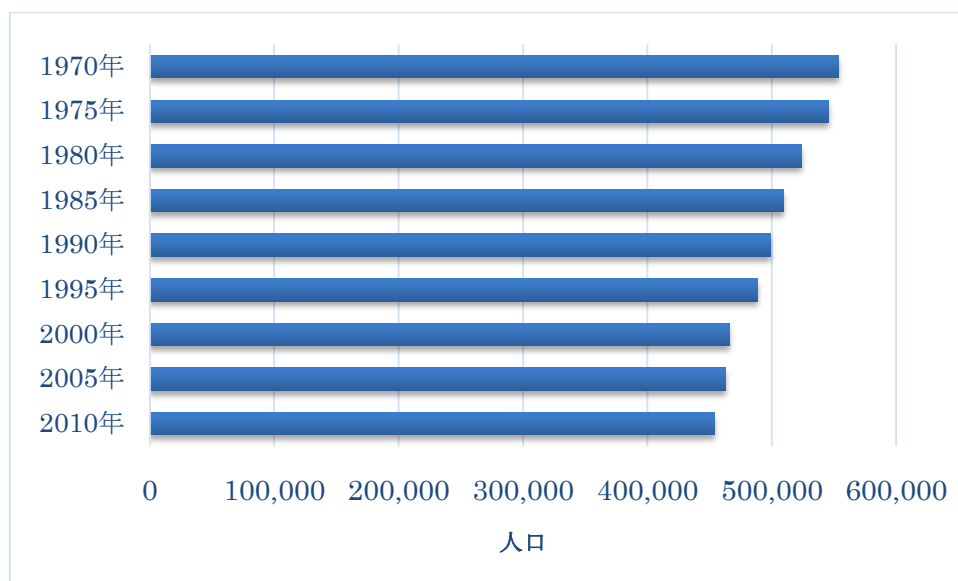
弘化3年(1846年1月28日、本丸の女中部屋付近より出火。本丸御殿が即日全焼した。再建の速度は領民の協力もあって甚だ早く、その年の7月には着工、翌年の1月28日には完工したという(「尼崎城本丸平面図」)^[1]。

明治6年(1873年)の廃城令により建物は一部を除き取り壊されたが、明治7年(1874年)、本丸御殿の一部が菩提寺・深正院(市内大物町)の本堂として移築された。この本堂は戦前まで残っていたが、戦災に遭い焼失した。城跡の一部に尼崎城址公園が整備され、石垣および土塀が模擬復元されている。

「尼崎城を建てて、市に寄付したい」

2015年、家電量販大手のミドリ電化(現エディオン)の創業者、安保証(あぼあきら)氏が10億円以上の建設費を負担して建設の申し出をきっかけに、尼崎城再建計画は動き出した。尼崎城は、約400年前の江戸時代初期に築かれ、「大坂の西の守り」を担った名城だが、1873(明治6)年の廃城令を受けて天守や櫓(やぐら)、石垣などが取り壊され、全国的にも珍しく地上から完全に姿を消した“幻の城”でもある。

【人口の変化】

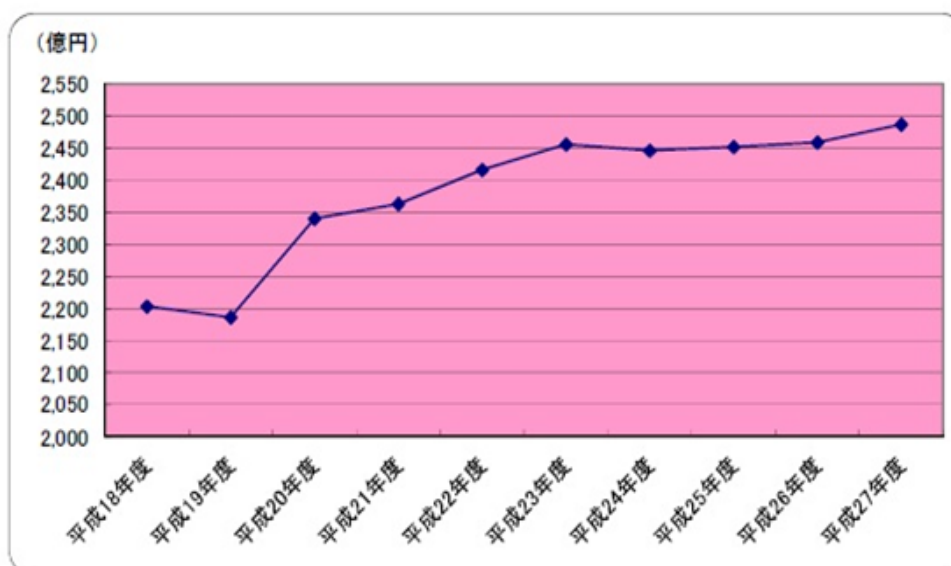


人口 453,748 人(ピーク時 1971 年度の 554,155 人 10 万人減少)

【経済状況】

＜市債残高の推移＞

※市債…大きな建設などを行うために、市が国や銀行などから長期で借りるお金。

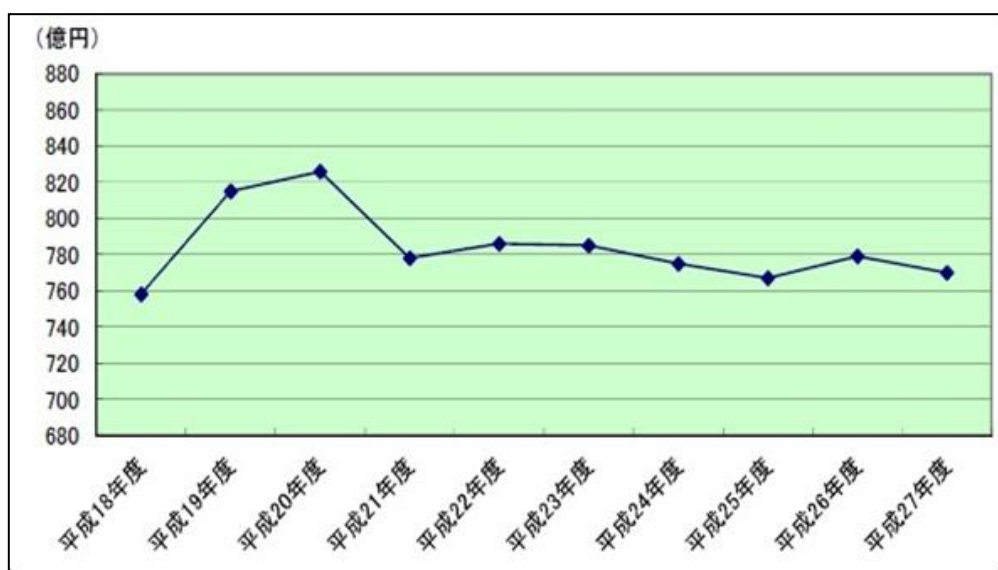


平成27年度の負債は、2486億6900万円。

グラフ全体を見ても、平成19年度から負債が増加していることがわかる。

これは、税収が減少していることが考えられる。

<尼崎の税収の推移>



平成27年度の税収は774億6千万円。

内訳は $\left(\begin{array}{l} \text{固定資産税}331\text{億}8\text{千}6\text{百万円} \\ \text{個人市民税}232\text{億}1\text{千}4\text{百万円} \end{array} \right)$

<課税所得と税率の算出>

平成27年度の課税所得は、6035億8602万7千円。

課税所得…1年間で尼崎市民が稼いだお金

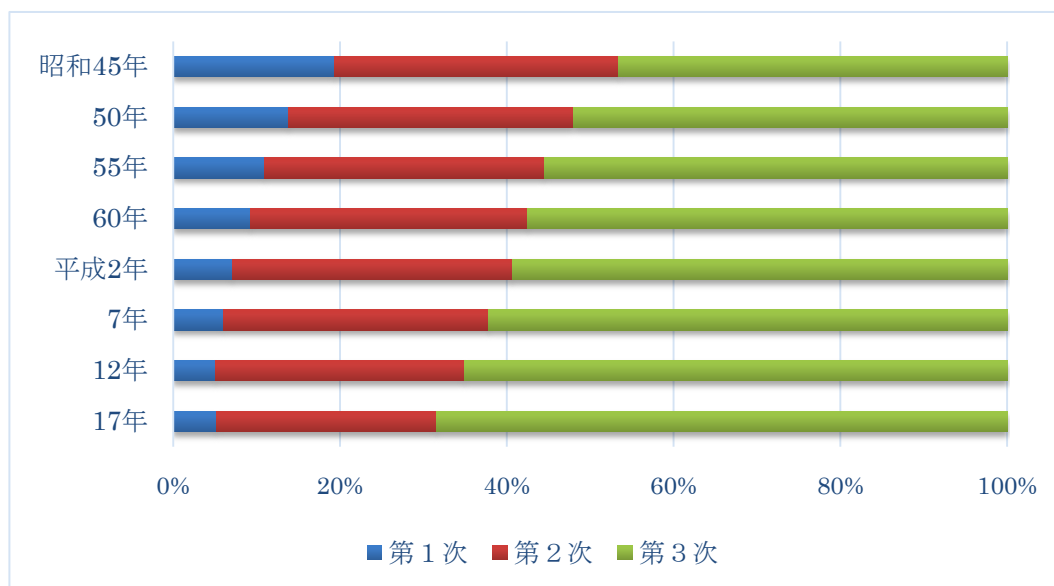
市税収入÷課税所得＝納税率より、尼崎市の納税率を求める。

この式に平成27年度の税収と課税所得を代入すると

$77,460,000,000 \div 603,586,027,000 = 0.1283$ となる。

よって、納税率を13%に設定する。

【産業構造の変化】



【産業の動向と課題】

鉄鋼を中心とする工業都市として高度経済成長期の日本経済を支えてきた尼崎市は、その後のいわゆる工場制限三法による法規制、オイルショックやバブル経済の崩壊、さらにはリーマンショックといった景気後退の影響や産業構造の転換、経済のグローバル化による国際競争の激化などにより、工場の閉鎖や市外転出が相次いだ。また、商業活動においても、大型商業施設の出店や消費者行動の変化により、商店街や市場で空店舗が増加するなど、産業の空洞化や産業活動の低迷も進んだ。これらを克服し、地域経済の持続的な発展を進めることが、本市の重要な課題となっている。

尼崎市は工業都市で有名である。しかしグラフを見ると工業が中心の第2次産業が減少し、観光・サービスが中心である第3次産業が増加している。これは尼崎市に限らず日本全体でみても同じことがいえる。

現在の日本が観光立国を目指しているように私たちも尼崎市の観光地を見つけ、プランを組み立てることにより町の特徴を生かしつつ尼崎市の経済の収入に貢献できると考えた。

【観光立国】

国内の特色ある自然環境、都市光景、美術館・博物館等を整備して国内外の観光客を誘い込み、人々の落とす金を国の経済を支える基盤の一つにすること。ちなみに、多くの国が観光局等を設置、観光資源の整備、観光業の規制、特に外国人観光客の誘致に努めている。

観光立国推進基本法とは？

観光基本法(昭和 38 年)を全面改正したもの。平成 18 年 12 月 13 日に成立。

平成 19 年 1 月 1 日から施行。

目的

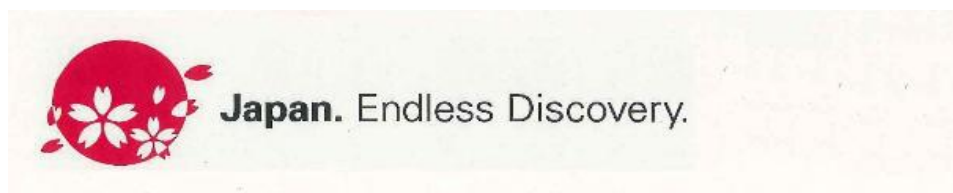
観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、そして国民経済の発展、国民生活の安定向上および国際相互理解の増進に寄与すること。

基本理念

1. 豊かな国民生活を実現するための「住んでよし・訪れてよしの国づくり」の認識の重要性。
2. 国民の観光旅行の促進の重要性
3. 国際的視点に立つことの重要性
4. 関係者相互の連携の確保の必要性

関係者の責務

1. 国の責務…観光立国の実現に関する施策を総合的に策定、実施する。
2. 地方公共団体の責務…地域の特性を生かした施策を策定し、実施する。
また、広域的な連携協力を図る。
3. 住民の責務…観光立国の重要性を理解し、魅力ある観光地の形成への積極的な役割を担う。
4. 観光事業者の責務…観光立国の実現に主体的に取り組むよう努める。



【尼崎を分析】

プランを組み立てるにあたって、まず自分たちの町を分析することからはじめた。分析の方法としてはSWOT分析が最適であると考えた。分析をした結果、下のような分類をすることができた。

S	Strengths (強み)	W	Weaknesses (弱み)
	<ul style="list-style-type: none">・交通の便が良い・大阪と神戸に近い		<ul style="list-style-type: none">・イメージが悪い・事件が多い
O	Opportunities (機会)	T	Threats (脅威)
	<ul style="list-style-type: none">・駅が再開発で人足が増加・インスタがブーム		<ul style="list-style-type: none">・観光客が少ない・人口の減少

この分析結果で分かったことは、交通の便がいいにもかかわらず、人があまり来ないことが分かる。交通の便を生かして、多方面から人を呼び込むことが現在の尼崎の課題であると考えられる。この課題を克服することで、税収や人口の減少、負債の増加を少しでも抑えることができると思われる。

交通の便などを生かして、人を呼び込む

町を活気づけて経済循環を円滑化する

市税収入を増加させ、負債を減少させる

私たちが尼崎市の観光地を見つけ、町の特徴を生かしつつ尼崎市の経済の収入に貢献できるプランを3つ組み立てることにした。

私たちは 3 つのプランを考えました！

A: 今流行りの…インスタツアー

B: 大人から子供まで出来る…！スポーツツアー

C: もうカメラは要らない…プロカメラマン同行ツアー

A: インスタツアー

最近、若い人はみんなやっている Instagram！

友達とはもちろん、子どもと共通の話題ができるように。

孫と良い写真をシェアできるように。

そのために、この機会を通じて試してみよう！というツアーです。

B: スポーツツアー

老若男女、みんなが知っている、できるものといったらスポーツです。

そこで、尼崎の南の方にある”尼崎スポーツの森”でいろんなスポーツができる

施設で 1 日楽しむツアーです。今の寒い季節だとアイススケートや、

夏の暑い時期だとプールなどがあります。他にフットサル・グラウンドゴルフがあります。

C: プロカメラマン同行ツアー

観光をしていて、誰かが写真撮影者になって集合写真に写れなかった…

他の人に頼むのもなんだか気が引ける…こんな経験はありませんか？

それを解決するのがこのツアーです。プロのカメラマンが撮ってくれるんです！

良いカメラ、良いアングル、良い写真を撮ってくれます。



♥ LOVEGRAPH, by e-chin

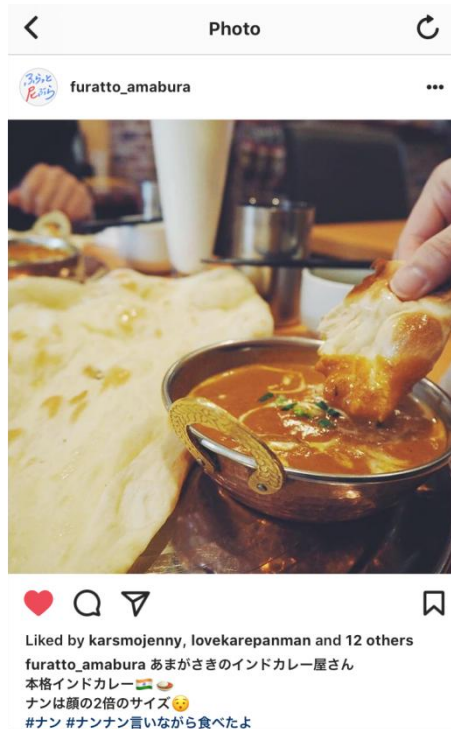
～平成29年のツアープラン～

A: インスタツアー

Instagramとは、世界中の人が利用しているSNSです。

このツアーでは、iPhoneを使ってInstagramでシェアしてみます。

実際に、このプロジェクトのアカウントを作ってみました。↓↓↓



～1日の流れ～

- 9:00 阪神尼崎駅で集合
- 9:05 寺町の自由散策
- 11:40 尼崎城の観光
- 12:40 ロビー・ザ・ラウンジでランチ
- 14:00 農業公園でピクニック
- 14:50 田能遺跡を散策
- 16:00 ショウタニでケーキのお土産
- 17:00 阪神尼崎で解散



～収入～

- 参加人数 25人
- 参加費 5,000円
- (iPhone レンタル代・ランチ代・バス代込み)
- 5,000円 × 25人 = 125,000円
- 125,000円 × 7日 × 12か月 = 10,500,000円



B:スポーツツアー

尼崎の南にあるスポーツの森にみんなで行って体を動かします！

この施設は季節によって遊べる範囲が違います。

最後に温泉に行って疲れた体を癒します。(このツアーは月1回の実施となります。)

まずは夏バージョン。プールが使えます。アマラーゴというスライダーなどがあるプールと、普通の25mプールがあります。

50mプール 1,100円×70人 = 77,000円

アマラーゴ 1,300円×70人 = 91,000円

フットサル 8,600円 施設使用料 = 8,600円

合計 176,600円

6～9月(4か月) 176,600円×4か月 = 706,400円

次に秋冬バージョン。寒い時期はアイススケートを利用できます。

グラウンドゴルフも、秋冬限定です。この時期はA・Bとタイプを分けてみました。

Aタイプ

スケートリンク 123,600円+1,400円×70人 = 221,600円

25mプール 1,100円×70人 = 77,000円

フットサル 8,600円 施設使用料 = 8,600円

合計 307,200円

Bタイプ

グラウンドゴルフ 12,000円 施設使用料 = 12,000円

25mプール 1,100円×70人 = 77,000円

フットサル 8,600円 施設使用料 = 8,600円

合計 97,600円

10～2月(5か月) 307,200円×2か月+97,600円×3か月 = 907,200円

温泉(夏・秋・冬9か月分)

2,050円(岩盤浴・シャンプー代など込み)×70人 = 143,500円

合計 143,500円

6～2月(9か月) 143,500円×9か月 = 1,291,500円

年間会員(フットサル)会員費 5,400円

年間費用 706,400円+907,200円+1,291,500円+5,400円 = 2,910,500円

上記の金額は、スポーツの森を季節ごとに借りた場合の原価計算です。

これらの金額を基に、1人あたりの参加費を設定し、70人とすると…(次のページへ…)

参加費 6,500 円/人×70 人=455,000 円

年間収入 455,000 円×9 か月=4,095,000 円



C:プロカメラマン同行ツアー

待ちに待った大切な人との旅行。風景も自分たちも綺麗に写真を撮りたい！
でも・・・誰が撮るの？そんなことはこのツアーにお任せを。少しお値段は張りますが、
プロのカメラマンが最高の写真を撮ってくれます！記念日などにお勧めです。
しかも尼崎には、意外とフォトジェニックな場所があるんです。それは、夜の工場地帯。

～1日の流れ～(このツアーは全て徒歩・1日限定7組)

14:00 阪神尼崎で集合

14:10 尼崎えびす神社まで徒歩で移動、そこから町を散策。
常楽寺・本興寺・法園寺・大覚寺・長遠寺・貴布禰神社など

19:00 関西熱化学尼崎(ここが夜景のポイントです！)

20:00 自由解散



カメラマンレンタル1回 16,000 円×7 組分=112,000 円
年 24 回の開催 112,000 円×24回=2,688,000 円(年間費用)
※上記の金額は、カメラマンの person 費として原価計算しました。

この金額を基に下記の参加費を設定しました。

1 回 30,000 円×7組=210,000 円
年 24 回の開催 210,000 円×24 回=5,040,000 円(年間収入)

～平成28年のツアープラン～

プランA: 幸せの七福神巡り

尼崎には新しくできた尼崎城とえべっさんがあります！なので、何かの願いをこの機会にしてみませんか？

普段何気なく通り過ぎてしまう場所も、このツアーではしっかり見られるので、再発見できるかも…！

～1日の流れ～(1人あたり4,050円のツアー・ランチ代・入浴代込み)

10:00 阪神尼崎駅で集合

10:15 尼崎城

11:30 尼崎えびす神社

12:00 「つのに」でランチ

13:10 常楽寺

13:35 本興寺

14:00 法園寺

14:25 大覚寺

14:50 長遠寺

15:20 貴布禰神社

15:40 みずきの湯で入浴

1カ月30人訪れる場合 4,050円×30人＝121,500円

1年通して計算する場合 121,500円×12カ月＝1,458,000円



プランB:どんな人も楽しめる尼崎観光

尼崎にはいろんなものが意外とあります。このツアーはなんと、いろいろ込みで 9,000 円で泊まります！ランチはピザ、おやつはケーキセット、ディナーはビュッフェです！とても充実した 2 日間になること間違いなし！（ここでは 1 日目だけご紹介します）

～1 日の流れ～

10:00 阪急園田駅で集合

10:15 農業公園で植物鑑賞

12:20 Jack's pizza and burgers でランチ(尼崎バーガー代金:550 円、ポテト別 250 円)

13:55 えびす神社

14:35 スプーンチャーム(名物のケーキセット代金:700 円、ドリンク代込み)

16:10 キューズモール

19:00 レンゴー尼崎工場

21:00 THE CITY BUFFET でディナー(ディナー料金:1,700 円)

22:50 尼崎セントラルホテル(料金:大人が 4,815 円、小人が 600 円)

年間 105 日の開催、1 回の定員が 40 名、1 人あたり 9,000 円として…

$9,000 \text{ 円} \times 40 \text{ 人} \times 105 \text{ 日} = 37,800,000 \text{ 円}$



プランC: ama de celeb

尼崎でもリッチな気分は味わうことができます。その気分を味わえるのがこのツアー。

もしも、このツアーが成功したら尼崎は有名な観光地になるかも！！

値段は約 40,000 円と少し高いかも知れませんが、その分最高のツアーを体験できます。

～1 日の流れ～

- 10:00 JR尼崎駅北側で集合
- 10:30 田能遺跡
- 12:00 本興寺
- 13:00 愛蓮(中華料理店)でコースランチ
- 14:30 園田競馬場でギャンブル
- 17:30 貴布祢(鉄板焼き店)で夜ごはん
- 19:00 リムジン体験
- 20:00 工場の夜景を見る
- 21:00 JR尼崎駅北側で解散

年間 10 回開催、1 回の定員 10 名、1 人あたり約 35,900 円

35,900 円×10 人×10 回=3,590,000 円



<プランのまとめ>

昨年(2019年)の3つのプランの合計収入は約 43,000,000 円でした。

今回のプランの合計収入は 19,635,000 円で昨年との合計は 62,635,000 円になります。

そこで、乗数効果の計算式に当てはめると・・・

62,635,000 円 / (1 - 0.75) により約 250,540,000 円の経済効果になります。

250,540,000 円 × 13% = 約 32,570,200 円が市税収入となります。

※ P4で紹介した、尼崎市の税率を使っております。

乗数効果・・・所得のうち消費にまわる部分の割合を平均消費性向というが、
限界消費性向は新たに増加した 1 単位の所得のうち消費にまわる部分の割合をさす。
J.M.ケインズにより用いられた概念。一般に限界消費性向はゼロより大きく 1 より小さい。

<乗数効果の計算式>

財政支出の乗数効果 = $1 / (1 - c)$ (cは限界消費性向)

(例) $100,000,000 \div (1 - 0.75) = 400,000,000$

(日本の平均的乗数効果を 0.75 とする)

1 億円収入が増えると、4 億円の経済波及効果があり、
その 13% 約 5,200 万円の税収につながる。

その結果、少しでも負債を補うことができるとわかりました。

また、上記のプランで「尼崎」を宣伝したことによって、USJ(14,600,000 人/年間)・甲子園(4,000,000 人/年間)の来場者数があり、そのうちの1%の人が訪れた場合、

$18,600,000 \text{ 人} \times 1\% = 186,000 \text{ 人}$ となる。

この人たちが一人 4,000 円消費していくと想定すると、

$186,000 \text{ 人} \times 4,000 \text{ 円} = 744,000,000 \text{ 円}$ となり、

$744,000,000 \text{ 円} / (1 - 0.75)$ により約 2,976,000,000 円の経済効果が生まれる。

$2,976,000,000 \text{ 円} \times \underline{13\%} = \text{約 } \underline{386,880,000 \text{ 円}}$ が市税収入となります。

※ P4で紹介した、尼崎市の税率を使っております



出典元

尼崎市公式HP <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp>

年収ガイド http://www.nenshuu.net/prefecture/shotoku/shotoku_city.php?code=282022

第10号 尼崎市の財政推移 収入借金・貯金・支払利息資産売却・収支不足

<http://kubotakaaki.com/blog/?p=127>

日本の家計消費性向の推移および景気変動との関係

<http://waveofsound.air-nifty.com/blog/2010/07/post-6b87.html>

N's spirit 消費性向とは 限界消費性向とは

http://www.nsspirit-cashf.com/yougo/yougo_shouhi_seikou.html

画像リンク集

<https://www.miyakohotels.ne.jp/archaic/restaurant/list/tsunokuni/lunch.html/>